

きら☆サポ通信

発行：富士見丘小学校学校支援本部

平成 27 年 11 月 30 日 No.7

「きら☆サポ」とは、「きらきらひかる子供たち」を支える「きらきらひかるサポーター」という意味を込めた富士見丘小学校 学校支援本部の愛称です。

【11月の学校支援本部活動を紹介します】



「逆転時間ワークショップ」を開催しました

11月7日（土）、メディア表現とコミュニケーションを体験するワークショップを開催し、午前の部、午後の部を合わせて80名近い参加者がありました。富士見丘小学校児童だけでなく近隣小学校からも多数の参加がありましたが、「はじめまして。」のメンバー同士にもかかわらずすぐに打ち解け、和気あいあいと積極的に活動する様子が見られました。

プログラムは、iPad mini を使って撮影した映像を逆再生して映像作品をつくるというもの。撮影と再生を繰り返して、どうすればもっと面白くなるのか、たくさんのアイディアと工夫を、たくさん話し合う活動です。作品発表の時間は保護者の見学もOKとし、みんなで鑑賞して楽しみました。



算数検定のお知らせ配布中

現在、平成27年度第2回「数学検定・算数検定」のお知らせを配布しています。この検定は、漢字検定とともに富士見丘中学校の学校支援本部 JOINT が実施しているものです。検定日は平成28年1月16日（土）。希望者は12月5日（土）と7日（月）、富士見丘中学校支援本部に直接、申込書と検定料をお持ちください。保護者も申し込むことができます。お子さんと一緒にチャレンジしてみてはいかがでしょうか。申込書は小学校の職員室前廊下に用意してあります。



分区連絡学習会に参加しました

杉並区教育委員会の主催で毎年開催され、各校の学校支援本部が一堂に会する「分区連絡学習会」。5分区（高井戸小、高井戸第二小、高井戸第四小、荻窪小、松庵小、富士見丘小、久我山小の7校）は、11月26日（木）、高井戸地域区民センターで開催されました。各校から教員1名と学校・地域コーディネーターが参加します。本校からは板倉先生と平田が出席しました。

最初は先生とコーディネーターとに分かれて、各校の活動内容や学校との連携のあり方についての情報交換。次に、先生とコーディネーターが同じテーブルに付き、「学校と支援本部が豊かなコミュニケーションを取るために工夫していること」をテーマにディスカッションしました。他校の取り組みを聞き、本校にも取り入れたい貴重な情報を得ることができました。学校によって、支援本部の活動内容には様々な違いがあります。本校学校支援本部の特徴は教育課程内（学習）支援が大きな割合を占めていること。これからも学校との信頼関係を大切に活動していきたいと思います。

11月は、学芸会やその準備、祝・休日や区の行事に伴う金曜時程などで、スタディルームと基礎基本タイムの回数が少ない月となりました。

【11月の花マル先生活動日】2回

【11月の基礎基本タイム丸付け】2回

【学校支援本部】メールは→fujimishoushien@bz03.plala.or.jp

電話・FAXは→03-5941-8967

「きら☆サポ通信」は富士見丘小学校学校支援本部の活動をお伝えします。